blanClass

2015 9–10 Live Art on Every Saturday and more

アクセス　井土ヶ谷駅はエアポート急行も止まります。

〈品川から京急の場合〉 京急蒲田でエアポート急行（横浜方面行）に乗り換えて井土ヶ谷駅下車。約 30 分

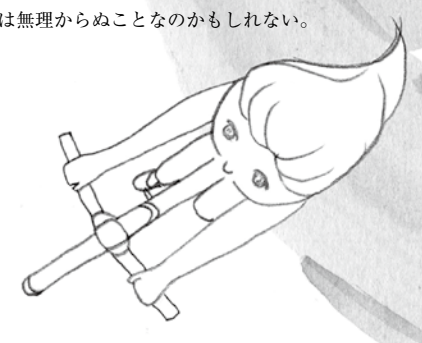
〈横浜から京急の場合〉 下りエアポート急行で２つ目（約８分）、普通で５つ目（約 11 分）、井土ヶ谷駅下車。

京浜急行 [井土ケ谷駅] 改札出て正面の信号を渡ってすぐ左折、１つ目の交差点を右折、２つ目の角を左折

三井のリパーク後ろ、白い blanClass 看板がある細い段々を上がって右の建物２階

「ここ」という世界の中心でなにを叫ぶか？

敗戦から 70 年が経った。70 年前に終わった戦争のことを忘れてはならないと一口に言うが、
若い世代にとっての 70 年前の史実とはどんなものだろう？ と我に返って、
自分が生まれてから 20 歳まで（1968 年～ 1988 年）のさらに 70 年前を考えてみた。
するとそれは 1898 年（明治 31 年）～ 1918 年（大正 7 年）ぐらいのことで、
第三次伊藤博文内閣に始まって、日露戦争、韓国統監府が設置され、
伊藤博文が暗殺された後に韓国併合がなされ、
そして第一次世界大戦が始まって終わるというような時代。
つまり今から 100 年以上も前の話になるのだ。
私が幼い頃、周りにはかろうじて
関東大震災を経験した老人たちによる、
未曾有の大災害の生々しい話が、
口述されていたことを記憶しているが、
100 年前にはその関東大震災も
まだ起こっていなかったことになる。
少なくとも、その頃の私にとっては
日露戦争や第一次世界大戦のことは、
あまりにも遠い霧の中の出来事のように
思われていた。
そう考えてみると、あれだけの大戦の記憶であっても、
風化してしまうのは無理からぬことなのかもしれない。



関東大震災といえば、直後に起こった朝鮮人虐殺の事実を 40 年以上も独自に研究している後藤周という人がいる。
実はこの人、私の中学の担任だった人で、課外授業というと大袈裟だが、放課後の
職員室で、私に広島長崎の原爆の被害について、水俣病の実態について、
そして在日コリアンに対する不当な差別の話をしてくれた。

先日、実に 35 年ぶりに後藤先生に連絡をして、お食事をしながら、
先生がこれまでに調べたことや活動の内容などを聞くことができた。
というのも、ここのところ、この国を騒がせている「安保法案」や
「ヘイトスピーチ」などを、どこから考えていいのか悩んでいたからだ。
後藤先生が関東大震災の研究を始めたきっかけは、郷里の岡山から
初めて赴任した中学校の学区内にある宝生寺（横浜市南区）に
関東大震災韓国人慰霊碑を見つけ、
一つの歴史的な事件に対して、
ある種の実感を得たことだったと言う。
そういうローカルな視点こそがチャンスなのではないかと直感して、
まずは先生に会ってみようと思い立ったわけだ。

blanClass はローカルな文化のリアルな姿を受け入れつつ、
アーティストや参加者と共に考える場を目指して運営を続けている。
それはインターナショナルとか、グローバルとか、ユニバーサルといった
巨視的な視野を仮設した概念、あるいは経済的に設えられたポピュリズムや
コマーシャリズムといった、現実には個人が客観化不能なイメージだけに
支えられた使命のようなものに「待った」をかけたいからだ。
ローカルというと、きっとドメスティックなものと誤解されたり、
地域系の文化と混同されたりしてしまうかもしれない。
それらは一見ローカルな文化に似ているけれど、結局は先に挙げたような
巨視的なイメージに支えられた図式的な営みなのではないだろうか？

急いで自分の姿勢を社会に示さなければ、食い扶持もままならないような世の中だから、
焦ってしまうのもしょうがないかもしれない。
でも 100 年前のことも、1000 年前のことも、10000 年前のことだって、
どうせ目の前にあることを頼りに考えるほかないのだから、
どこにでもあるはずの極めてローカルな「ここ」という世界の中心で、丁寧に考えていくしかない。

関東大震災の直後に起こった虐殺の記憶は blanClass にもほど近いところに、形になって幾つか点在している。
いずれ blanClass に関わっているアーティトたちも誘って、私もフィールドワークしてみようと思う。

小林晴夫

ブランクラス ***Live Art & Archive***

〒 232-0006　横浜市南区南太田 4-12-16-2F
info@blanclass.com　http://blanclass.com　Twitter ／ facebook：blanclass
スタッフ：小林晴夫（ディレクター） 安部祥子（+product）野本直輝（ウラブラ） 宮澤 響（ウラブラ）

blanClass 2015 September - October　イラスト　安部祥子　ロゴ　淺野 豪

2015 9

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
	1	2	3	4	5 **飯山由貴 ＋ 宮澤 響** op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500（ワンドリンク）	6
7	8	9	10 ★月イチ **CAMP** **something for something #7** st. 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200	11	12 **坂本 悠** op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500 / 学 ¥1,000 （ワンドリンク）	13
14	15	16	17 ★月イチ **岸井大輔** アジアで上演する #12 op. 18:30 / 19:00- 22:00 ¥2,000（要予約）	18	19 **津田道子** op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500（ワンドリンク）	20
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 ★月イチ **鈴木理策** 写真のゆくえ #4 st. 19:30（要予約） ¥2,500 / 学¥1,500	25 ★月イチ **杉田 敦** nano school #31 st. 18:30（要予約） ¥1,200 / 学¥1,000	26 **小泉明郎 ＋ 高川和也** 集合 17:00 / st. 17:30 ¥3,000	27
28	29	30				

2015 10

週イチ セッション 参加者募集中

10 回～ 12 回、3 ヶ月完結にして、発表を前提にしたユニークなセッションです。2015 年秋冬シーズンは 10 月に平倉圭（月）、津田道子（金）、11 月には中村達哉（日・祝）の 3 セッションがはじまります。詳しくは web、または資料をご請求ください。

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
			1 ★月イチ **CAMP** something for something #8 st. 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200	2 ☆週イチ **津田道子** パラパラパラドックス #1 （全 10 回＋発表） 19:00-21:30 定員 20 名 応募〆切 9 月 27 日	3 開放日 13:00 - 22:30 基本的に無料	4 開放日 13:00 - 22:30 基本的に無料
5 ☆週イチ **平倉 圭** 体の外で考える： 異種の折りたたみ篇 #1 （全 10 回＋発表） 19:30-21:30 定員 25 名 応募〆切 9 月 27 日	6	7	8	9 ☆週イチ **津田道子** パラパラパラドックス #2 19:00-21:30	10 開放日 13:00 - 22:30 基本的に無料	11 開放日 13:00 - 22:30 基本的に無料
12 体育の日 開放日 13:00 - 22:30 基本的に無料	13	14	15	16 ☆週イチ **津田道子** パラパラパラドックス #3 19:00-21:30	17 **CAMP** 隔月 CAMP テーマ・料金・時間 未定	18
19 ☆週イチ **平倉 圭** 体の外で考える： 異種の折りたたみ篇 #2 19:30-21:30	20	21	22	23 ☆週イチ **津田道子** パラパラパラドックス #4 19:00-21:30	24 **森田浩彰** op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500（ワンドリンク）	25
26 ☆週イチ **平倉 圭** 体の外で考える： 異種の折りたたみ篇 #3 19:30-21:30	27	28	29 ★月イチ **鈴木理策** 写真のゆくえ #5 st. 19:30（要予約） ¥2,500 / 学¥1,500	30 ★月イチ **杉田 敦** nano school #32 st. 18:30（要予約） ¥1,200 / 学¥1,000	31 **笠原恵実子** op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500（ワンドリンク）	

blanClass membership

blanClass の活動を応援、ご支援、ご協力をしていただけるメンバーを広く募集しています。

スタンダードメンバー
ステューデント 年会費 ￥10,000
シングル 年会費 ￥20,000
ペア年会費 ￥30,000

プレミアムメンバー
フレンド年会費 ￥50,000
フェロー　年会費 ￥100,000

サポートメンバー
ベネファクター 年会費 ￥250,000
パトロン 年会費 ￥1,000,000

※会員登録は受付、または web の申し込みフォームをご利用ください。

DVD ｜多田正美 w/ 鈴木理策［西浦の田楽］

オープン価格｜ blanClass ストアページ bproduct.thebase.in から（￥2,000）でご購入できます。

音楽家、多田正美の表現に大きな意味を持つ奇祭、「西浦の観音様のお祭り」（静岡県西浦地区）を地続きの文化として交換してみようという企画。2011 年 10 月 29 日「新・港村」にて、中川敏光、伊藤啓太、柿ハンドルドライブと舞いびと達とともにコラボレートされたパフォーマンスと「西浦の観音様のお祭り」の映像＆多田正美インタビューを収録した DVD。

Live Art

Live Art

毎週土曜日は、Live Art＋公開インタビュー。ワンナイト完結の、どんなことでもありのアートイベント。
おいしい軽食（無料）、飲物（有料）をご用意しております。

9.5［土］ パフォーマンス

飯山由貴＋宮澤 響　タイトル未定

飯山由貴《海の観音様に会いに行く》（2014・映像）

昨年夏、飯山由貴さんの、飯山一家がムーミン一家に扮して小田原や箱根をまわる姿を収めたスライドと映像を同時にスクリーニングするという作品に、撮影として関わった。その経験は、なにかとても不思議なものであった。それは飯山由貴というアーティストが作品で社会に対面するあり方に「鑑賞者とも制作者とも違う関わり」を持てたということではないか？ もう一度、飯山さんとの関係の中で現れるなにかを見つめてみようと思った。（宮澤 響）

open 18:30　start 19:30　¥1,500（ワンドリンク）

9.12［土］ 研究と実践／アイドル

坂本 悠　アイドルと呼ばれるか？

坂本 悠《Computer Controlled spectrum》
2015.2.28 blanClass × CSLAB 漂流する生活

AKB 以降と呼ばれる 10 年代アイドルカルチャーは、「今までのアイドルとは違う」という言葉と共に既存のアイドル像を置換し変換し破壊しながら枝分かれしています。それらは何を換えてきたのでしょうか？その差異からは時代背景や経済、メディア変化などの「アイドルの仕組み」が見えてきます。その「仕組み」を表象した場合、それはアイドルと呼び得るでしょうか？

open 18:30　start 19:30　¥1,500／学生 ¥1,000（ワンドリンク）

9.19［土］ パフォーマンス

津田道子　装置の配置

2014.3.1 津田道子《オイディプス王―自由間接話法》

頭の中にできるイメージの元は、カメラやモニタなどの装置だったりします。その装置につきものの因果の途中に制作者としてのわたしが入り込んだり、観客としてのわたしが入り込んだりすることを考えたりしています。blanClass では、映像やインスタレーションではなく一過性の出来事として構成します。内容はこれから考えます。

open 18:30　start 19:30　¥1,500（ワンドリンク）

9.26［土］ ポエトリーリーディング

小泉明郎＋高川和也　カシューナッツ

《カシューナッツ》ポエトリーリーディング

もし耳を傾け観察することをやめようとさえしなければ、
唯一の障害は注意を払わないことだけである。

集合 17:00　開始 17:30　集合場所 blanClass　¥3,000

10.3［土］・4［日］ 開放日
10.10［土］・11［日］・12［月・祝］ 開放日

13:00 ― 22:00　基本的に無料

10.17［土］

CAMP　タイトル未定

2015.7.4 出張 blanClass @ Art Center Ongoing
手さぐりの手巻き寿司パーティー

隔月 1 回のペースで Live Art に参戦している CAMP。これまでに「真夜中の CAMP」を含めた 3 つの独立したイベントを同日に行なったり「30 時間 CAMP」や 5 泊 6 日の「ホテル CAMP」など、回を増すごとに難易度が増す感もありますが、今回はどんな企画がとび出すでしょう？ 詳細は時間、料金なども含めて追って blanClass や CAMP のサイトなどで告知します。

10.24［土］ イベント

森田浩彰　にゃーにゃにゃ、にゃにににゃにゃにゃにゃにゃに（仮）

森田浩彰《習作 No.3》
（2012.5.12, 初夏の BBQ ナイト）

森田 ちょっと今回の企画は僕自身では語りたくないので、代わりに blanClass のネコちゃんエシャクさんに語ってもらいましょう。ではどうぞ。

エシャク「にゃーにゃにゃ、にゃにににゃにゃにゃにゃにゃに」にゃにゃにゃにゃんにゃ「にゃー！（にゃにゃにゃないにゃ！）」にゃにゃにゃにゃ「にゃ…（にゃにゃにゃにゃーん、にゃにゃにゃんにゃにゃにゃにゃにゃ）」にゃにゃにゃにゃっにゃにゃ、にゃにゃにゃにゃっにゃにゃ、にゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃにゃなにゃい。

森田 ありがとうございました。

open 18:30　start 19:30　¥1,500（ワンドリンク）

10.31［土］ アートを共に語るご飯会、お題付き

笠原恵実子　アートでナイト part 3 ｜偽満州国 ※

2015.6.13 笠原恵実子 アートでナイト part 2
｜アメリカ大陸先住民

1932 年に現中華人民共和国東北地方に建国された傀儡国家「偽満州国」は、急速な近代国家形成を試みた大日本帝国が行き着いた、無謀な植民地政策でした。その理想主義的建国理念と、1945 年に至る悲惨極まりない崩壊への道筋との間に存在する圧倒的な齟齬感に、国家、イデオロギー、文化、政治、経済、個などといった争点を考えうる、重要な地点が存在していると思います。第二次世界大戦終結から 70 年経ちましたが、私たちは近代国家という枠を越えることが出来ないままにいます。あいも変わらず強国が主導権を握り粛々と営まれていく世界政治を前に皆さんと共に考え、会話を共有できたらと思います。

※満洲国を歴史的な独立国として見なさない立場から、中華民国、中華人民共和国では「偽満洲国」が正式呼称。

open 18:30　start 19:30　¥1,500（ワンドリンク）

月イチ セッション

連続しつつも、1 回 1 回が読切りのトークセッション。毎回刺激的な内容なので、どこを切っても違った面白さがあります。
途中参加も気にせず、ドシドシ参加してください。

月イチ セッション 予約方法

月イチ セッションは予約が必要です。以下の内容をイベント前日までにメールにて送信してください。こちらからの返信を持って予約完了とさせていただきます。当日の場合でも準備がありますのでご予約をお願いします。なお定員に達した場合などお断りすることもございますので、あらかじめご了承ください。
〈メールアドレス〉info@blanclass,com〈件名〉各イベント名〈本文〉1）日にち 2）氏名 3）住所 4) メールアドレス 5）参加人数

9.10［木］ トークセッション
10.1［木］ トークセッション

CAMP　something for something #7, #8

2015.5.29 CAMP something for something #4

2015 年 2 月からスタートした「something for something」。ちなみに 1 回目はセス・ジーゲローブ（Seth Siegelaub）の活動、2 回目は「クレーム」、3 ～ 5 回目は「ファンド」、6 回目は映像作家の青山真也さんをお招きして「オリンピック」について考えました。詳細は blanClass や CAMP のサイトで。

※ CAMP のサイトからでも予約できます。http://ca-mp.blogspot.com/

start 19:30　予約 ￥1,000　当日 ￥1,200　定員 30 名

9.17［木］ 新作戯曲の上演

戯曲『好きにやることの喜劇（コメディー）』上演

2015.2.13 アジアで上演する #6 ｜やってみる－1
萩原雄太「離見の見」体感装置実演

出演 梅津庸一（美術家）タカハシ ' タカカーン ' セイジ（音楽家／無職・イン・レジデンス）
萩原雄太（演出家／かもめマシーン）
※「アジアで上演する」の全イベントに出席した振付家斉藤成美に本シリーズ鑑賞からの作品を依頼、製作された「しつらい」（出演：斉藤成美／前田ゆきの）も上演される。

岸井大輔　アジアで上演する #12 fin.（全 12 回）

アジアを概念化し、西洋芸術に接ぎ木して作品製作をすることは、歴史を振り変えるまでもなく、陳腐であり、かつ危険な飛躍となりやすい。しかし、それを承知の上で、アジアに新たに向かい直す芸術家が増えている。しかも、彼らは、表現形式として展示ではなく上演を志向することが多いようだ。この現象を「アジア（とか日本とか）」「上演」という言葉を使わずに記述できる言語を獲得したいと考え、　「アジアで上演する」シリーズをはじめた。
まず、何人かの「アジアで上演する」アーティストにスポットをあて 9 － 12 月に発言を記録・交流、2、3 月に実験公演、4 － 6 月は以上の体験から見出されたいくつかのテーマに基づく分科会をもった。また、1 月と 7 月には振り返り検証をした。このシリーズを主催する岸井は劇作家であるので、以上の経験を戯曲「好きにやることの喜劇（コメディー）」にまとめ、数人のアーティストにより上演する。

19:00 ― 22:00　￥2,000（出入り自由）　定員 30 名

9.24［木］ 講義／作品講評　写真と映画
10.29［木］ 講義／作品講評　写真の選び方

鈴木理策　写真のゆくえ #4, #5（全 8 回）

2015.6.19 写真のゆくえ #2 ｜写真と絵画 1

デジタルカメラが備える機能は、それ以前のフィルムカメラで不便とされていたことを解決するべく用意された様に思う。たしかに、撮影枚数や露出の面でデジカメはフィルム写真の限界を拡張しているし、撮影したその場で図像を確認できることは、撮り手が信じる「より良い写真」を手に入れるためには頼もしいのだろう。撮り損じても後から加工・修正が可能だから、撮影時の偶然はもはや必要とされず、絵筆よりも簡単に心的イメージを具現化する道具としてカメラを使う人も多い。

こうした変化はじわじわ浸透し、違和感なく受け入れられている。だがこの変化によって失われつつある写真の魅力が確かにある。さらに悪いことに、デジタルという新技術が旧来の写真に対するリテラシーの下で用いられているという閉塞的な状況が認められる。写真の持つ性質について改めて考え、その上で制作してゆくことで、作家性を確かなものにすることを本セッションの目的とする。

※各回後半で受講者の持参した作品講評を行います。
※ 11/12（木）#6 写真の展示／ 12/17（木）#7 写真集の話／ 1/28（木）#8 デジタル写真（全 8 回）

start 19:30　1 回 ￥2,500（4 回目～ ￥2,000）　学生 ￥1,500

9.25［金］ スクールセッション　裸になること、左になること #5
10.30［金］ スクールセッション　裸になること、左になること #6

杉田 敦　ナノスクール《nano school》#31, #32

2015.7.10 nano school #30

知っていると思い込んでいることを可能な限り小さくして、再び、本当の意味で知るために努力してみること。アートにとって重要だと思われるそうした姿勢を、いろいろ試していく、極小の学校、ナノ・スクールも、3 期目に突入しています。

井土ケ谷事件の当事者になるという衝撃的なスタートから、「協調／反駁／誤解」、「そこにそれはない、あるのかもしれないけれど」とテーマを替えつつ、昨年は《第 3 回イドガヤ・ビエンナーレ》を開催（2017 年 12 月 12 日まで）。今期はアクティヴィストの可能性を探ります。テーマは、「裸になること、左になること」。頑迷な保守主義が、アベノミクス、PEGIDA とスタイルのイノヴェーションし続けているのとは対照的に、左翼には創造性は期待できないのでしょうか？ いま一度人類学的な意味で左になるために、できることとは何なのか。誰にでもできる服を脱ぐことと、アナキスト的な思考、行動との間にある隔たりについて考察／実験します。

※ナノ・スクールは完全予約制となります。 参加資格は、アート、あるいはそれに関連する分野の専門家、あるいは専門家を目指す人とさせていただきます。

start 18:30　￥1,200　学生 ￥1,000

週イチ セッション

週 1 回のペースで全 10 回～ 12 回、3 ヶ月完結にして、参加者の発表も前提にしたセッションを 10 月からはじめます。2015 年秋冬シーズンは以下の 3 セッション。各セッションの詳しい内容や日程は Web にて、もしくはリーフレットをご請求ください。

週イチ セッション 応募方法

リーフレットにて、講座の要項を了承の上、所定の申込書に必要事項を書き込み郵送、または blanClass 公式ホームページの応募用紙をダウンロード、必要事項を記入の上 blanClass まで送信し、指定の銀行口座宛に、全額か申込金のみを振込んでください。入金が確認でき次第、手続き完了となります。（申込金のみを選択した方の場合、講座 1 回目までには授業料をお支払いください。）

問合せ・資料請求　blanClass 〒 232-0006　横浜市南区南太田 4-12-16-2F　info@blanclass.com　http://blanclass.com

△ **体の外で考える：異種の折りたたみ篇｜平倉 圭**　*10 月～ 12 月 月曜日 レクチャー＋ワークショップ 全 10 回＋発表*
19:30 ― 21:30　定員 25 名　申込金 ¥6,000（共通）セッションのみ ¥30,000　＋発表　＋ ¥5,000

▷ **パラパラパラドックス｜津田道子**　*10 月～ 12 月 金曜日 ワークショップ＋リサーチ 全 10 回＋発表*
19:00 ― 21:30　定員 20 名　申込金 ¥6,000（共通）セッションのみ ¥30,000　＋発表　＋ ¥5,000

▽ **かかわりをおどるⅡ ボディマップを重ねてみる｜中村達哉**　*11 月～ 1 月 日曜日祝日 ワークショップ＋リサーチ全 12 回＋発表*
15:30 ― 18:30（2 部 19:00 ― 22:00）定員 20 名　申込金 ¥6,000（共通）セッションのみ ¥36,000　＋発表　＋ ¥5,000